

WITH YOU

保険情報ペーパー「ウィズ・ユー」

65歳以上の要介護(要支援)認定者数約511万人

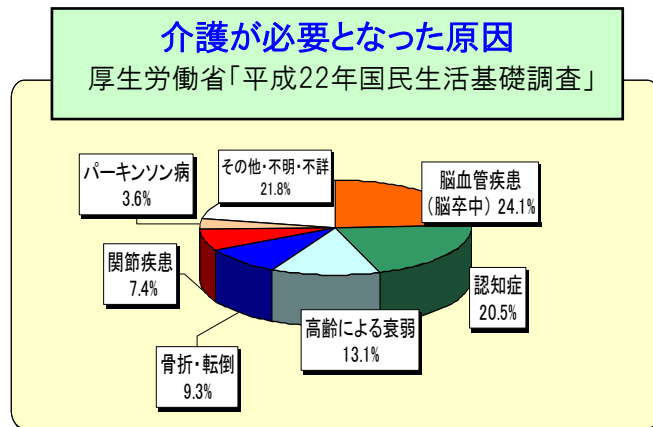
介護はだれにとっても身近な問題

原因の1位は「脳卒中」
「老老介護」世帯が増える

「介護」について、皆さん考えたことはあるでしょうか？現在、65歳以上の介護保険の要介護（要支援）認定者数は約511万人（男性約151万人、女性約360万人）となっています（厚生労働省「介護給付費実態調査月報」平成23年9月審査分）。この数は、今後も増えていくことが予想されます。いつ、家族の介護をする立場になったり、介護を受ける立場になったりするかもしれません。介護はだれにとっても身近な問題だといえます。

厚生労働省「平成22年国民生活基礎調査」によると、要介護者の介護が必要となった原因は、「脳血管疾患（脳卒中）」が24.1%と最も多く、「認知症」（20.5%）、「高齢による衰弱」（13.1%）と続いています。主な介護の担い手（介護者）ですが、要介護者と同居している家族が65%近くを占め、続柄では「配偶者」（25.7%）、「子」（20.9%）、「子の配偶者」（15.2%）の順になっています。在宅で介護する家族の介護時間も、要介護度の上昇に伴い「ほとんど終日」の割合が高くなっています。

働きながら介護する人を支援するため、「育児・介護休業法」などの法整備もされていますが、介護は長期にわたるため、仕事との両立が難しく、仕事をやめるというケースも少なくありま



せん。また、高齢者夫婦で夫（妻）が妻（夫）の介護をする「老老介護」も増えています。しかも、長期化やその負担感から、介護うつや介護ストレスなどに陥ってしまうこともあり、社会問題になっています。そういった状況は、介護する側にとっても、介護される側にとっても不幸なことです。「頑張りすぎない」と同時に、介護サービスなどを上手に利用することが大切になります。

万一、介護が必要になった場合、社会保障制度としての公的介護保険がベースになりますが、今後の介護給付費の増加に伴い、利用者負担の引き上げなどの可能性もあります。安心して自分や家族が暮らしていけるよう、長期的な視点からライフプランをつくっていくことが重要です。

2012年2月作成



フォーユーシステム株式会社

〒989-6135 宮城県大崎市古川稲葉字浦田32-1
古川の通報は大場いい 通話いや
TEL 0229-24-0855 FAX 0229-24-0855
<http://www.foryousystem.co.jp>